



# 損保ジャパン記念財団 News

●発行：財団法人損保ジャパン記念財団 〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン本社ビル 37階

TEL03-3349-9570 FAX03-5322-5257 <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation> Eメール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

## 「損保ジャパン記念財団賞」の授賞文献が決定されました

第6回(平成16年度)「損保ジャパン記念財団賞」は、指定推薦者から著書部門で32編、論文部門で16編と多くの推薦をいただきました。

平成16年10月12日(財団会議室)、平成16年12月21日(同)、平成17年1月8日(同)、平成17年1月26日(同)の計4回の審査委員会を開催し、前記推薦文献のほか7学会誌の文献も参考にしつつ、社会福祉学の学術面の向上に大きく寄与し、優秀な研究者の人材育成を図るとの観点から議論し、厳正な審査を重ねてきました。結果、下記に記載の著書1編、論文1編が受賞に相応しい候補文献として厳選されました。推薦された文献は、平成17年2月3日開催の臨時理事会において、16年度の損保ジャパン記念財団賞に決定されました。

### 著書部門(1編)

#### 『中途失聴者と難聴者の世界』

第一福祉大学人間社会福祉学部

社会福祉学科(通信教育部) 助教授 山口 利勝 氏

「音声コミュニケーション障害」という視座を通して、中途失聴者である筆者が自身の体験について、社会学・心理学・文化人類学、精神医学等の理論を援用し、また筆者以外の聴覚障害者の体験とも比較考察しながら、発生する問題を客観的に論述し、生活上の様々な問題への対応策を提示している。その研究内容は社会福祉学研究の新たな分野へ踏み込み、特にソーシャルワーク研究の分野にも大きなインパクトを与えるものとなっている。

### 論文部門(1編)

#### 「高齢者福祉施設スタッフのQWL測定尺度の開発」

関西福祉科学大学 社会学部

社会福祉学科 専任講師 李 政元 氏

高齢者福祉施設スタッフの職場環境における待遇、上司との関係、同僚との関係、成長満足度の4つの基本的欲求に対する満足度を測定するQuality of Working Lifeの尺度の開発を試みている。介護施設スタッフの職業生活の質を充足する手だてを考えることは、喫急の課題であり、良質の介護を提供する条件を提示する点においても時宜を得た論文となっている。

なお、贈呈式は、3月29日(火)午後5時より損保ジャパン本社ビル37階で開催されます。

平成17年1月26日  
審査委員会の様子  
(財団会議室にて)



## NPO法人設立資金助成に次ぐ

## 新たな市民活動支援事業を目指して

# NPO法人座談会を開催しました

in 仙台

平成11年度より始めました「NPO 法人設立資金助成」は6年を経過し、これまでに全国約570のNPO法人の設立を支援してきました。この助成は、法人化前の段階で、かつ設立のためであれば原則用途は問わないという画期的な助成として、受け手のNPOからは「これまでに無かった使い勝手の良い助成資金」として高く評価を受け、現在もなお多くの申請を受け付けています。



平成 17 年 2 月 9 日  
座談会の様子  
(仙台支店会議室にて)

→

当財団では、我が国の低成長経済の長期化、急激な少子高齢化社会の到来などの時代変化の中で、特に年金・医療・介護等を含む社会保障のあり方や制度が大きく変化し、地方の役割や国民一人一人の自助のウエイトが高まる社会を迎えることを見通し、そのような社会では、地域における市民活動の活性化が、変わり行く社会を支える大きな原動力になると確信し、福祉分野における市民活動(NPO)団体の支援に取り組んできました。

その第1弾が「NPO法人設立資金助成」で、地方分権が進み、介護保険や支援費制度を中心とした地域福祉の充実が強く望まれ、地域で支える地域社会の構築が目指す方向として示される中、その担い手としての福祉系NPOの法人化は社会的信用度・認知度のアップ、持続的活動のための基盤確立等に寄与し、サービスの向上につながることを期待した助成事業です。

この間、全国に約2万の NPO 法人(うち福祉系は約半数強)が誕生し、地域を支える主体として広範な分野での活動が始まり、国も地方自治体もその育成に力を入れてきています。自治体の中には、当財団の設立資金助成と同様の支援を実施するところも出てきました。

しかしながら、すべての法人が順調に成長しているとは言えません。法人の中には、資金難や人材難を抱えながらも、熱い使命感で活動を継続している団体が多くあるのも現状です。

NPO法人設立資金助成は、上記のように初期の目的を果たしつつありますが、法人化したNPOが法人としての軌道に乗り、社会的役割を果たしていくためには、組織・事業の強化が必要であり、今日の課題ともなっています。

上記の背景や将来の姿を視野に入れ、当財団では設立資金の助成と平行しながら、次の

ステップとして、すでに設立された NPO 法人への新たな支援事業の検討を始めています。

その準備として、昨年1都3県の助成先9団体の皆さんにお集まりいただき、「NPO 法人の活動を更に飛躍させるために必要な課題は何か？ 財団が行う NPO 法人支援として、どのような助成を期待したいか？」などのテーマで意見交換会を開催、また、NPO支援団体や各地のNPOセンターの皆さんとの会合を開催してきました。

去る2月9日(水)には宮城県下の助成先(平成11年度から16年度にかけての宮城県下の助成先15団体)に集まっていたいただき、損害保険ジャパン仙台支店の会議室で意見交換会を実施しました。夕方5時からにもかかわらず、14団体22名の方々が参加され、NPO法人設立後の各団体の活動状況、現在の課題、将来の構想など熱く語っていただきました。また、助成財団に対する要望や具体的案件などについても意見交換を行ないましたが、新規事業に対する各団体の期待の大きさが感じられました。仙台支店の土山総務課長、鳥居総務課長代理も同席され、充実した意見交換会となりました。

財団では、これら一連の意見交換会で出された貴重な意見やアドバイスを参考に、設立資金助成に次ぐNPOの基盤強化に向けた新たな助成事業を検討し、我が国福祉系の市民活動の活性化を通し、地域福祉の充実、サービス向上の実現ならびに支えあう地域社会の実現に向け努力していきたいと考えています。

## 路上生活者への支援活動に参加しました

「損保ジャパン記念財団賞」記念講演会は、人材育成を兼ね会場を提供いただいた大学の大学院生の協力を得て開催していますが、その協力者の一人である東洋大学大学院生の後藤さんは社会福祉学の研究に励む傍ら、社会福祉の現場での活動を実践しています。

昨年11月24日(水)、その活動の一つである特定非営利活動法人【山友会】(路上生活者の支援団体)活動に富沢事務局長、神納職員、武藤スタッフの3人が同行しました。

近年の社会福祉には、主にイギリスで実践されている「ソーシャル・インクルージョン」という概念が紹介され、我が国での実践が研究されています。これは障害者や高齢者ばかりではなく、社会的に何らかのハンディキャップを負っている人々を含め、地域で支えていく社会システムの構築が必要ではないかという考え方です。そのような社会福祉の方向性を実感できる活動の一つがホームレスに対する支援活動であることから、今回は当財団職員の体験学習を実施しました。



山友会さんに初めて伺って、いろいろな方が関わっているのに感銘を受けました。日本の方ももちろん、フランスやアメリカご出身のシスター、アメリカからは日米のホームレスの比較研究をしている大学院生や小児科医を目指す医学生など、国際的です。初めて参加するボランティアの方もすぐうち解けられる雰囲気は、使命感に支えられた山友会さんの長年にわたる蓄積だと思います。河川敷のテラスは一種のコミュニティを形成しており、アウトリーチで接触したおじさん(ホームレスの方)のはにかんだような人なつこい笑顔のうしろに現実を垣間見た気がしました。(富沢)

【山友会】は、1984年から通称「山谷地域」にて路上生活を余儀なくされている方々に対し、生活および自立のための支援を続けている団体で、2002年4月にNPO法人格を取得しています。主な活動内容の概略は次の通りです。

- ①山友クリニック      ボランティアの医療スタッフによる無料の診療活動。
- ②相談援助              生活上の問題や健康上の問題に対する相談業務や宿泊所での一時保護。
- ③憩いの場の提供      1階ではお茶や衣類、2階ではボランティアの人々による食事の提供。
- ④アウトリーチ        山友会の利用者とボランティアによって調理された簡単な食事を持参し・配食する中で培った互いの信頼関係に基き、生活上のさまざまな相談に応じている。

今回、参加したのは④のアウトリーチという活動です。まず山友会の事務所で、ボランティアの方たちが調理した昼食(寄付で集められた食材を利用したもの)を他のメンバーと一緒に食べた後、ミーティング(本日の活動内容や注意事項、グループ分け等)に参加。

リュックや大きな手提げ袋に配食するお弁当を詰め込み、グループごとに車でそれぞれの活動予定場所に向かいました。

隅田川の河川敷のベンチでは様々な人たちが、思い思いの時間を過ごしています。そのうちの誰が路上生活者なのか、ちょっと見たところでは見分けが付きません。しかし、足元などから大体見当をつけて、まずは勇気を出して「こんにちは」の声かけ。それから「具合の悪いところはありますか。なにかあったら山友会の事務所に遠慮なく来て下さい」と話をして、お弁当を手渡していきます。

高層ビルやマンションが立ち並ぶ中、東京都と23区が推進する支援策と相俟って、多くのボランティアに支えられ、他の民間支援団体、区役所、病院、福祉施設と連携して地道に活動する山友会で都市型ホームレスの自立支援を体験し、行政だけに頼ってられない民間による地域ぐるみの社会的弱者に対する支援の必要性、あり方を考えさせられた一日でした。

一度だけの活動で表面しか見ていないのに、このように言っているのか迷うところですが、ただ与えるだけの福祉のあり方に多少の疑問を持ったこと、福祉とはどうあるべきかの根本的な考えに直面させられました。また、人間の生き方にはその人の考えようでどのようにでも生きられることを痛感しました。この活動に参加でき、本当に良かったと思います。皆様にもお勧めいたします。(武藤)



まず驚いたのが、その建築の見事さです。高床式で、窓やひさしの付いた家もありました。そして、家財道具の多いこと。多分、初めてこの河川敷へやってきた時は、身の回り品くらいしか持っていなかったんだろうと思われるのですが、何年も暮らす間に、道具というものは増えていってしまうのでしょうか。「手に入るときに手に入れておかなければ」という強迫観念からか、これまでの生活習慣からか分かりませんが、人間の“性”のようなものを見せ付けられた気がしました。“人として生きる”とは、どういうことか。大きなテーマをお土産に、帰ってきました。(神納)





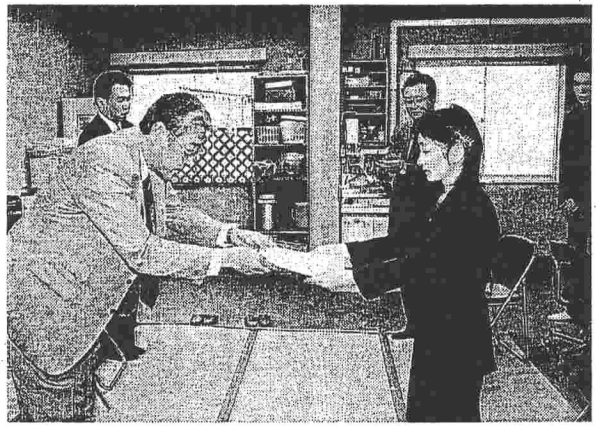
助成金100万円贈呈  
 損保ジャパン記念財団  
 (理事長 平野浩志 損害  
 保険ジャパン社長)は10  
 日、知的障害者更生施設  
 「星の里」(北杜市長坂  
 町)の保護者でつくるN  
 PO法人「サポートネッ  
 トワークゆい」(有賀天

間理事長)へ、自動車購  
 入のための助成金100  
 万円を贈った。写真。  
 障害者・高齢者福祉団  
 体の支援活動の一環。同  
 日は星の里で贈呈式を行  
 い、同社山梨支店の深沢  
 克弥支店長が有賀理事長  
 に目録を手渡した。有賀  
 理事長は「冬を迎えるに  
 当たり、自動車を購入で  
 きることはありがたい」と  
 と感謝の言葉を述べた。

山梨日日新聞 (12/11)



特定非営利活動法人 ハートケアゆーあい (千葉県)



たんぽぽクラブへの自動車  
 購入費助成の贈呈式

たんぽぽクラブは、十五  
 年四月にNPO法人の認証  
 を受け、花巻市委託の学童  
 クラブや児童デイサービス  
 などを実施。十七年度から  
 はホームヘルプ事業にも取  
 り組む計画で、購入車は主  
 に障害児者の外出支援など  
 移動介護に活用する。  
 同財団は昭和五十二年の  
 設立以来、社会福祉助成を  
 指して「一緒に頑張る」と祝  
 辞を述べた。

たんぽぽクラブは、十五  
 年四月にNPO法人の認証  
 を受け、花巻市委託の学童  
 クラブや児童デイサービス  
 などを実施。十七年度から  
 はホームヘルプ事業にも取  
 り組む計画で、購入車は主  
 に障害児者の外出支援など  
 移動介護に活用する。  
 同財団は昭和五十二年の  
 設立以来、社会福祉助成を  
 指して「一緒に頑張る」と祝  
 辞を述べた。

たんぽぽクラブ  
 岩手日日新聞 (11/30)

毎年実施し、累計総額は十  
 一億四千万円に上る。今回  
 の自動車購入費助成には、  
 東日本の七十九団体から応  
 募があり、県内ではたんぽ  
 ぽクラブと盛岡市精神障害  
 者家族会「ユリノキ会」の  
 二団体が対象となった。

## 寄付金の御礼

次の方々から暖かい寄付金をいただきました。ありがとうございました。当財団の事業資  
 金として大切に活用させていただきます。(寄付日順・平成17年3月末日現在)

- 株式会社ジャパン保険サービス 様
- 損保ジャパンひまわり生命保険株式会社 様
- 株式会社損保ジャパン・ビルマネジメント 様
- 株式会社損保ジャパン・システムソリューション 様
- 株式会社損保ジャパン調査サービス 様
- 株式会社損保ジャパン企業保険サービス 様
- 株式会社損保ジャパン・クレジット 様
- 株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 様

- 株式会社損保ジャパン印刷サービス 様
- 株式会社損保ジャパン総合研究所 様
- 株式会社サンビルメンテナンス 様
- 安田企業投資株式会社 様
- 株式会社損保ジャパン情報サービス 様
- ユニバース開発株式会社 様
- 株式会社キャリアビューロー 様
- 損保ジャパンちきゅうくらぶ 様

他1件